

1997年度事業報告

1. 会員数の動向 (1998年3月31日現在)

会員数合計	4,575(増)	19
通常会員	4,052(+)	8
一般 A	2,747 (+)	6
B	974 (-)	6
学生 A	255 (+)	14
B	76 (-)	6
特別会員	183(+)	18
個人	50 (+)	2
団体	133 (+)	16
団体会員	294(-)	3
団体 A	122 (+)	1
B	172 (-)	4
賛助会員	40 (0)	
名誉会員	6 (0)	

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 44巻4号-45巻3号 12冊(940頁)
昨年度より72ページ増。各号約4650部印刷
- (2) 気象集誌75巻1B号-76巻1号7冊(1257頁)
昨年度より329ページ増。各号1900部印刷
- (3) 気象研究ノート
189号 「1993年/1994年夏の異常気象」
290頁 1850部 印刷
- (4) 予稿集 春季大会 1450部 印刷
秋季大会 1500部 印刷

3. 会議等の開催

- (1) 総会 1997年 5月22日 筑波大学
出席者：190名、委任状：825名
計：1,015名
- ア 1996年度事業報告・決算報告、
1997年度事業計画・予算が承認された。
- イ 理事の辞任に伴う追加選任が承認された。
辞任：斎藤三行 新任：城尾泰彦
窪田 将 古川武彦
加藤一靖 高橋 昭
高橋 劭 宮原三郎
中山 崇 由良 武
- ウ 「各賞および国際交流に関する
細則等の改正」が承認された。
- (2) 理事会
第29期(第3回) 1997年5月21日 筑波大学
第29期(第4回) 1997年10月7日 札幌
第29期(第5回) 1998年3月19日 東京

(3) 常任理事会

第29期(8-15回) 8回 気象学会事務局

(4) 評議員会

第29期第1回 1997年5月20日

会場 千代田区立中小企業センター

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 1997年 5月21~23日
会場：筑波大学大会館
(担当：筑波大学)
シンポジウム「雲過程と陸面過程
-21世紀への展望-」
- (2) 秋季大会 1997年10月7~9日
会場：北海道大学
学術交流会館・百年記念会館
(担当：北海道大学)
シンポジウム「北極圏の大気環境と
物質循環」
- (3) 研究会、月例会等
ア IGBP/GAIM 研究連絡会
筑波大 1997年 5月24日
北大 1997年10月10日
京大 1998年 3月30日
イ 極域・寒冷域研究連絡会
筑波大 1997年 5月23日
北大 1997年10月 9日
ウ メソ気象研究会
筑波大 1997年 5月20日
エ 「日本における気象学研究に関する現状と
将来」を検討する会
筑波大 1997年5月 20日
北大 1997年10月6日
オ 第9回夏の学校
仙台 1997年 8月18~20日
カ 第41回山の気象シンポジウム
東京 1997年 6月21日
キ 長期予報と大気大循環
東京 1997年 11月5日
ク レーダー気象
東京 1998年 1月20日
- (4) 他学会との共催等
ア 第34回理工学における同位元素研究会
1997年 6月30~7月2日
イ 第5回水資源に関するシンポジウム
1997年8月4、5日
ウ 第44回風に関するシンポジウム
1997年12月16日

- エ 中間圏界面領域の大気構造と力学過程
(DYSMER)に関する国際シンポジウム
1998年3月16～20日

5. 研究業績の表彰及び研究の奨励

- (1) 研究業績の表彰
- ア 日本気象学会賞
 - 佐藤 信夫 気象庁気象衛星室
 - イ 藤原賞
 - 関口 理郎 成蹊大学
 - ウ 山本・正野論文賞
 - 植田 宏昭 筑波大学地球科学研究科
 - 小林 文明 防衛大学校地球科学科
 - エ 堀内基金奨励賞
 - 川村 宏 東北大学理学部大気海洋
変動観測研究センター
 - 神沢 博 国立環境研究所
- (2) 奨励金受領者
- 山下 龍平 旭川地方気象台
 - 花宮 廣務 大分地方気象台

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
- ア 研究発表会 (札幌) 1997年 6月 9日
 - イ 講演会 (札幌) 1997年10月13日
- (2) 東北支部
- ア 支部講演会 (仙台) 1997年11月27日
 - イ 地方講演会 (青森) 1997年 9月 5日
- (3) 中部支部
- ア 総会 (名古屋) 1997年 9月24日
 - イ 支部研究会 (金沢) 1997年11月20, 21日
- (4) 関西支部
- ア 総会・年会 (大阪) 1997年 6月16日
 - イ 例会・講演会 (京都) 1997年10月22日
(高松) 1997年11月21日
(広島) 1997年11月28日
(神戸) 1998年 2月16日
- (5) 九州支部
- ア 支部講演会 (福岡) 1998年 2月16日
- (6) 沖縄支部
- ア 防災気象講演会 (名護) 1997年 7月31日
(那覇) 1997年 8月 1日
 - イ 気象研究会 (那覇) 1997年10月27, 28日

7. 普及活動

- (1) 第31回夏季大学
1997年8月4～6日
東京大学山上会館 (本郷キャンパス内)

- 「新しい気象学」—大気汚染と酸性雨—
- (2) 関西支部第19回夏季大学
1997年 7月23, 24日 大阪市立科学館
「天気変化の仕組みと新しい天気予報」
- (3) 北海道支部第15回夏季大学
1997年 7月30, 31日
第1日目 札幌市青少年科学館
第2日目 札幌管区気象台
「新しい気象」
- (4) 中部支部 第4回気象講座
1997年 8月29日 名古屋
- (5) 文部省研究成果公開促進補助金
による講演会
沖縄支部 1997年10月28日
—台風と沖縄の地域経済—

8. 国際学術交流活動

国際学術研究会参加補助

前期

- 1) 藤原正智 (アメリカ) 第10回中層大気会議
- 2) 大谷 竜 (オーストラリア) IAMAS・IAPSO合同学会
- 3) 桑形恒男 (オーストラリア) IAMAS・IAPSO合同学会
領域移行ニューサウスワークショップ*

後期

- 1) 柴垣佳明 (インド) MSTV-97-科学技術に関する
ワークショップ
- 2) 尾崎尚則 (フランス) 第9回衛星気象学と
海洋学の会議

9. 電子情報関連

- (1) 文部省学術情報センターによる電子図書館
サービス運用開始
- (2) パソコン通信 (BBS) の廃止 (12月31日)
- (3) 学会事務局の電話回線のISDN化

10. その他

- (1) 「地球環境科学関連学会協議会」
第1回 開催 1997年12月22日
- (2) 「春季・秋季大会講演のあり方」
についての改革

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	内		1,997年度		達成率 (B/A)	備考
			公益部門	収益部門	差異 (B-A)	1997年4月1日～ 1998年3月31日		
1. 会費収入	41,354,000	42,284,913	42,284,913		930,913	102.3%		
通常会員	31,394,000	31,932,757	31,932,757		538,757	101.7%	前年度前受会費含む	
特別会員	1,006,000	1,193,036	1,193,036		187,036	118.6%	同上	
団体会員	6,024,000	6,369,120	6,369,120		345,120	105.7%		
賛助会員	2,930,000	2,790,000	2,790,000		△140,000	95.2%		
2. 基本財産運用	978,000	892,936	892,936		△85,064	91.3%		
一般基金	381,000	315,501	315,501		△65,499	82.8%	基金、藤原、山本・正野、堀内	
国際交流基金	597,000	577,435	577,435		△19,565	96.7%		
3. 事業収入	35,942,000	32,109,720	14,939,410	17,170,310	△3,832,280	89.3%		
天気	5,520,000	6,637,200	169,800	6,467,400	1,117,200	120.2%	(収) 広告料、別刷代	
気象集誌	6,390,000	6,340,055	4,661,457	1,678,598	△49,945	99.2%	(公) 投稿料 (収) 別刷代	
気象研究ノート	11,458,000	4,820,082		4,820,082	△6,637,918	42.1%		
予稿集	5,574,000	6,968,888	5,693,388	1,275,500	1,394,888	125.0%	(収) 広告料	
大会開催	2,420,000	3,137,000	3,137,000		717,000	129.6%	春秋大会参加費等	
教育と普及	1,025,000	866,910	866,910		△158,090	84.6%	夏季大学受講料、テキスト	
書店扱	3,350,000	2,928,730		2,928,730	△421,270	87.4%		
業務受託		212,030	212,030		212,030	****		
その他事業収入	205,000	198,825	198,825		△6,175	97.0%	刊行物の直接販売等	
4. 補助金収入	5,060,000	5,210,000	5,210,000		150,000	103.0%		
科学研究費	5,060,000	5,210,000	5,210,000		150,000	103.0%		
その他					0	****		
5. 寄付金収入	0	268,804	268,804		268,804	****		
寄付金		268,804	268,804		268,804	****		
募金					0	****		
6. 基本財産取崩収入	0	0	0		0	****		
一般基金					0	****		
国際交流基金					0	****		

収支計算書

勘定科目	1997年度		1997年度		達成率 (B/A)	差異 (B-A)	備考
	(円)		1,997年度				
	予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	訳 収益部門			
1. 収入の部 (2)							
7. 引当金取崩収入 退職金引当金	0 0	0 0	0 0	0 0	**** ****	0 0	
8. 雑収入	343,000	575,039	536,774	38,265	167.6%	232,039	
受取利息	193,000	116,093	116,093		60.2%	△76,907	
著作権複写許可料	100,000	310,461	310,461		310.5%	210,461	
印税	50,000	38,265	38,265		76.5%	△11,735	
その他雑収入	0	110,220	110,220	0	****	110,220	誤納入金等
当期(純)収入合計	83,677,000	81,341,412	64,132,837	17,208,575	97.2%	△2,335,588	
前期繰越収支差額	9,188,867	9,188,867	7,035,350	2,153,517	100.0%	0	
(純)収入合計	92,865,867	90,530,279	71,168,187	19,362,092	97.5%	△2,335,588	
収益から公益へ寄付		1,800,000	1,800,000		****	1,800,000	
当期収入合計		83,141,412	65,932,837	17,208,575			
収入合計		92,330,279	72,968,187	19,362,092			

勘定科目	1997年度		1997年度		達成率 (B/A)	差異 (B-A)	備考
	(円)		1,997年度				
	予算額 (A)	決算額 (B)	内 公益部門	訳 収益部門			
2. 支出の部 (1)							
1. 事業費	57,062,000	49,574,163	41,455,697	8,118,466	86.9%	△7,487,837	
天気	26,577,000	25,765,144	22,090,625	3,674,519	96.9%	△811,856	(収) 広告、別刷経費
印刷製本費	20503000	19,633,771	16,034,227	3,599,544	95.8%	△869,229	
編集委員会費	1200000	1,200,000	1,200,000		100.0%	0	
通信運搬費	4874000	4,931,373	4,856,398	74,975	101.2%	57,373	
気象集誌	11,061,000	11,402,627	9,822,511	1,580,116	103.1%	341,627	(収) 別刷経費
印刷製本費	7,592,000	7,854,071	6,601,411	1,252,660	103.5%	262,071	
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000		100.0%	0	
校正料	600,000	510,309	510,309		85.1%	△89,691	
通信運搬費	1,580,000	1,749,247	1,421,791	327,456	110.7%	169,247	

収支計算書

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	1997年度		達成率 (B/A)	備考
			内			
			公益部門	収益部門		
2. 支出の部 (2)						
気象研究ノート	8,347,000	2,762,347		2,762,347	33.1%	
印刷製本費	5,502,000	1,735,717		1,735,717	31.5%	189号
編集委員会費	620,000	421,020		421,020	67.9%	
原稿料	1,100,000	320,880		320,880	29.2%	
通信運搬費	1,125,000	284,730		284,730	25.3%	
予稿集	2,125,000	2,486,523	2,385,039	101,484	117.0%	(収) 広告経費
印刷製本費	1,385,000	1,717,724	1,616,240	101,484	124.0%	
通信運搬費	740,000	768,799	768,799		103.9%	
大会開催	4,502,000	3,535,362	3,535,362		78.5%	会場費、運営費
春秋大会	4,000,000	3,380,000	3,380,000		84.5%	
その他合	352,000	5,362	5,362		1.5%	
講演企画委	150,000	150,000	150,000		100.0%	
教育と普及	1,305,000	1,190,356	1,190,356		91.2%	
委員会	150,000	150,000	150,000		100.0%	
夏季大学開催	369,000	327,956	327,956		88.9%	
支部夏季大学補助	250,000	250,000	250,000		100.0%	
夏季大学テキスト	536,000	462,400	462,400		86.3%	
表彰・奨励	1,575,000	1,440,164	1,440,164		91.4%	各賞5名、奨励金4名
賞金	910,000	740,000	740,000		81.3%	
委員会	165,000	230,997	230,997		140.0%	
雑費	500,000	469,167	469,167		93.8%	「賞金」受賞者旅費を含む
国際学術交流	1,320,000	881,710	881,710		66.8%	
参加旅費補助	1,100,000	670,000	670,000		60.9%	
交流事業	200,000	200,000	200,000		100.0%	
委員会費	20,000	11,710	11,710		58.6%	
研究連絡会	250,000	109,930	109,930		44.0%	
受託業務費	0	0	0		****	
その他事業費	0	0	0	0	****	

収支計算書

勘定科目	2. 支出の部 (3)		1,997年度		達成率 (B/A)	備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	公益部門	収益部門		
2. 管理費	26,578,000	26,012,736	19,368,180	6,644,556	△565,264	97.9%
人件費	14,606,000	14,470,248	10,852,685	3,617,563	△135,752	99.1%
職員給料	12,333,000	12,407,663	9,305,747	3,101,916	74,663	100.6%
福利厚生費	995,000	614,465	460,848	153,617	△380,535	61.8%
臨時雇用賃金	1,278,000	1,448,120	1,086,090	362,030	170,120	113.3%
退職金	0	0	0	0	0	****
事務局関連経費	6,913,000	6,060,022	4,323,963	1,736,059	△852,978	87.7%
貸借料	1,572,000	1,584,148	1,188,111	396,037	12,148	100.8%
光熱水量	150,000	130,250	97,687	32,563	△19,750	86.8%
消耗品	850,000	781,023	585,767	195,256	△68,977	91.9%
什器備品	500,000	294,735	0	294,735	△205,265	58.9%
借料	222,000	76,560	57,420	19,140	△145,440	34.5%
通信運搬費	1,193,000	1,022,915	767,186	255,729	△170,085	85.7%
印刷製本費	870,000	1,106,190	829,642	276,548	236,190	127.1%
旅費交通費	10,000	6,320	4,740	1,580	△3,680	63.2%
会議費	10,000	8,820	6,615	2,205	△1,180	88.2%
交際費	30,000	0	0	0	△30,000	0.0%
手数料	325,000	316,778	237,583	79,195	△8,222	97.5%
事務委託費	306,000	337,080	252,810	84,270	31,080	110.2%
諸会費・謝金	325,000	329,500	247,125	82,375	4,500	101.4%
その他	550,000	65,703	49,277	16,426	△484,297	11.9%

(社団法人) 日本気象学会

収支計算書

勘定科目	(円)		1,997年度		1997年4月1日～		1998年3月31日		備考
	予算額 (A)	決算額 (B)	内		差異 (B-A)	達成率 (B/A)			
			公益部門	収益部門					
2. 支出の部 (4)									
パソコン通信	183,000	199,474	149,605	49,869	16,474	109.0%			
電算機開発管理	250,000	191,100	143,325	47,775	△58,900	76.4%			
総会・役員会	1,428,000	1,778,259	1,333,694	444,565	350,259	124.5%			
選挙費用	668,000	550,247	412,685	137,562	△117,753	82.4%			
支部交付金	2,500,000	2,444,650	1,833,487	611,163	△55,350	97.8%			
租税公課	30,000	14,340	14,340	0	△15,660	47.8%			
その他管理費	0	304,396	304,396	0	304,396	****			過誤納金返却 郵便料受取人私担保金
3. 基本財産繰入	0	0	0	0	0	****			
一般基金	0	0	0	0	0	****			
国際交流基金	0	0	0	0	0	****			
4. 引当金繰入	623,000	615,824	615,824		△7,176	98.8%			
退職金引当金	623,000	615,824	615,824		△7,176	98.8%			
5. 予備費	1,000,000	0	0	0	△1,000,000	0.0%			
当期 (純) 支出合計	85,263,000	76,202,723	61,439,701	14,763,022	△9,060,277	89.4%			
当期 (純) 収支差額	1,383,430	5,138,689	2,693,136	2,445,553	3,755,259	371.4%			
税引前次期繰越収支差額	2,956,084	14,327,556	9,728,486	4,599,070	11,371,472	484.7%			
法人税等引当金繰入		930,000		930,000	930,000	****			
収益から公益へ寄付		1,800,000		1,800,000	1,800,000	****			
税引後当期支出合計		78,932,723	61,439,701	17,493,022					
次期繰越収支差額		13,397,556	11,528,486	1,869,070					

損益計算書

1,997年度 1997年4月1日～ 1998年 3月31日

損失の部 (円)		利益の部 (円)	
事業支出	8,118,466	事業収入	7,748,812
印刷製本費	6,689,405	気象研究ノート収入	4,820,082
原稿料	320,880	書店税収入	2,928,730
編集費	421,020		
通信運搬費	687,161		
運営基本支出	6,349,821	その他の収入	9,459,763
職員給料	3,101,916	受取利息収入	0
福利厚生費	153,617	別刷収入	2,664,748
臨時雇用賃金	362,030	広告料収入	6,756,750
事務局関連経費	1,441,324	印税収入	38,265
パソコン通信	49,869		
電算機開発管理	47,775		
総会・役員会	444,565		
選挙費用	137,562		
支部交付金	611,163		
租税公課	0		
什器備品償却費	0		
その他	0		
期首棚卸	1,969,180	期末棚卸	1,966,493
費用合計	16,437,467	収入合計	19,175,068
当期税引前利益	2,737,601		
法人税等引当金繰出	930,000		
公益事業に寄付	1,800,000		
前期繰越金	4,122,697		
当期繰越金	4,130,298		

(繰越金には棚卸資産が含まれる)

貸借対照表

1,997年度

1998年

3月31日

勘定科目	合計	内 訳	
		公益部門	収益部門
I 資産の部	106,132,155	100,850,725	5,281,430
(資産合計)	48,392,010	43,698,347	4,693,663
1. 流動資産	71,664	△75,073	146,737
現金	15,518,546	12,938,113	2,580,433
普通預金	2,302,387	2,302,387	0
郵便振替貯金	26,819,320	26,819,320	0
公社債信託	(44,711,917)	(41,984,747)	(2,727,170)
(小計)	3,680,093	1,713,600	1,966,493
棚卸資産	57,740,145	57,152,378	587,767
2. 固定資産	53,972,955	53,972,955	0
(1) 基本財産	22,362,955	22,362,955	0
貸付信託	31,610,000	31,610,000	0
公社債信託	3,767,190	3,179,423	587,767
(2) その他	2,413,496	2,413,496	0
金銭信託 (退職引当)	1,353,694	765,927	587,767
什器備品	33,727,857	32,869,757	858,100
(負債合計)	31,314,361	30,456,261	858,100
II 負債の部	30,402,635	30,402,635	0
1. 流動負債	53,626	53,626	0
前受会費	858,100	858,100	0
預り金	2,413,496	2,413,496	0
法人税等引当金	2,413,496	2,413,496	0
2. 固定負債	2,413,496	2,413,496	0
退職金引当金	2,413,496	2,413,496	0
III 正味財産の部	72,404,298	67,980,968	4,423,330
(当期繰越金)	(53,972,955)	(53,972,955)	0
(うち基本財産)	106,132,155	100,850,725	5,281,430
負債および正味財産の合計			

正味財産増減計算書

1,997年度

1997年4月1日～ 1998年 3月31日

	II 減少の部 (円)			I 増加の部 (円)		
	合計	公益部門	収益部門	合計	公益部門	収益部門
資産減少額	5,860,478	1,946,648	3,913,830	41,931,976	37,225,195	4,706,781
基本財産取崩	0	0		5,138,689	2,693,136	2,445,553
退職金引当金取崩	0	0		0	0	0
什器備品減価償却費	377,698	233,048	144,650	615,824	615,824	
期首棚卸額	3,682,780	1,713,600	1,969,180	294,735	0	294,735
公益事業へ寄付	1,800,000		1,800,000	3,680,093	1,713,600	1,966,493
負債増加額	31,948,459	31,018,459	930,000	30,402,635	30,402,635	
退職金引当金繰入	615,824	615,824		1,800,000	1,800,000	0
前受会費	30,402,635	30,402,635		0	0	0
法人税等引当金繰入	930,000		930,000	0	0	0
減少額合計	37,808,937	32,965,107	4,843,830	41,931,976	37,225,195	4,706,781
当期正味財産増加額	4,123,039	4,260,088	△137,049			
(うち基本財産増加額)	(0)	(0)				
前期繰越正味財産額	68,281,259	63,720,880	4,560,379			
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)				
期末正味財産合計額	72,404,298	67,980,968	4,423,330			
(うち基本財産)	(53,972,955)	(53,972,955)				
増加額合計						

財産目録

1998年 3月 31日 現在

資産総額 106,132,155 円

種類	預入先	金額(円)	備考
1. 基本財産			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	〃	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,600,000	藤原賞
	〃	600,000	堀内基金
	三井信託銀行 本店	1,912,955	藤原賞
公社債信託	野村証券 銀座支店	25,960,000	国際学術交流基金
	山一投資信託	5,650,000	堀内基金
	合計	53,972,955	
2. その他の固定資産			
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	2,413,496	退職給与引当金
什器備品		1,353,694	
	合計	3,767,190	
3. 流動資産			
現金	手元保管	71,664	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	15,518,546	
	東京銀行	0	
郵便振替預金	中央郵便局	2,302,387	
公社債信託	野村証券 東京支店	13,406,695	
	日興証券 新丸ビル支店	13,412,625	
期末在庫高		3,680,093	
	合計	48,392,010	

計算書類に対する注記

1998年3月 31日

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法... 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却... 什器備品は、定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準... 退職給与引当金は、期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲... 現金預金、預り金及び前受金を含めるとしている。

なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	71,664	△75,073	146,737
普通預金	15,518,546	12,938,113	2,580,433
郵便振替貯金	2,302,387	2,302,387	0
公社債信託	26,819,320	26,819,320	0
(合計)	(44,711,917)	(41,984,747)	(2,727,170)
前受会費	30,402,635	30,402,635	
預り金	53,626	53,626	
法人税等引当金	858,100		858,100
次期繰越収支差額	13,397,556	11,528,486	1,869,070

3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科目	当期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	0	0	0	25,960,000
堀内基金	0	0	0	6,250,000
合計	0	0	0	53,972,955

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	8,464,560	7,110,866	1,353,694
合計	8,464,560	7,110,866	1,353,694

部門別収支の集計 (決算)

1,997年度

1997年4月1日より
1998年3月31日まで

公益事業		(円)			
部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	31,638,703	22,090,625	9,548,078	9,554,919	△6,841
気象集誌	20,687,467	9,822,511	10,864,956	6,247,635	4,617,321
大会・予稿集	8,830,388	5,920,401	2,909,987	2,666,786	243,201
教育と普及	865,910	1,190,356	△323,446	261,808	△585,254
表彰・奨励	315,501	1,440,164	△1,124,663	95,282	△1,219,945
国際学術交流	577,435	881,710	△304,275	174,386	△478,661
受託業務	212,030	0	212,030	64,033	147,997
その他事業	198,825	109,930	88,895	60,045	28,850
雑収入・予備費	805,578	0	805,578	243,285	562,293
退職金	0	615,824	△615,824	0	△615,824
合計	64,132,837	42,071,521	22,061,316	19,368,179	2,693,137

純収入＝各部門の公益事業分収入
 純支出＝各部門の公益事業分支出
 純収支差額＝純収入－純支出
 管理費分担＝管理費の公益事業分のみ
 (純収入に比例して分担)
 利益＝純収入－純支出－管理費分
 ＝純収支差額－管理費分

1998年度会計報告書

収益事業		(円)			
部門	純収入 (A)	純支出 (B)	純収支差額 (A-B)	管理費分担 (C)	利益 (A-B-C)
天気	6,467,400	3,674,519	2,792,881	2,497,185	295,696
気象集誌	1,678,598	1,580,116	98,482	648,138	△549,656
気象研究ノート	4,820,082	2,762,347	2,057,735	1,861,125	196,610
予稿集	1,275,500	101,484	1,174,016	492,495	681,521
書店等・予備費	2,966,995	0	2,966,995	1,145,613	1,821,382
合計	17,208,575	8,118,466	9,090,109	6,644,556	2,445,553

純収入＝各部門の収益事業分収入
 純支出＝各部門の収益事業分支出
 純収支差額＝純収入－純支出
 管理費分担＝管理費の収益事業分のみ
 (純収入に比例して分担)
 利益＝純収入－純支出－管理費分
 ＝純収支差額－管理費分

1997年度社団法人日本気象学会監査報告

1997年度社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を次のとおり報告する。

1. 監査月日

1998年4月20日

2. 監査場所

東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内
日本気象学会事務局

3. 監査帳簿

- (1) 1997年度会計監査受検調書
- (2) 総勘定元帳
- (3) 財産目録
- (4) 現金出納帳
- (5) 預貯金出納帳
- (6) 備品台帳
- (7) 領収書類
- (8) 預金証書および普通預金通帳
- (9) 郵便振替受払通知票
- (10) 現金受領簿
- (11) 小切手帳および小切手受払簿
- (12) 1997年度事業報告書

4. 監査内容

(1) 1997年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。

(2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。

(3) 学会の運営状況について聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

1997年度（1997年4月1日から1998年3月31日まで）の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は1996年度に引き続き順調に推移している。単年度収支では収入は減少したが、支出も縮小されたため、公益事業、収益事業ともに黒字を維持した。公益事業については業務受託費が大幅に減少したが印刷費等支出の縮減により小幅の収益減にとどまった。

部門別収支では、公益事業の「天気」は、ここ数年赤字基調であったが今年度はほぼ収支均衡と

なった。今後もこの傾向が続くことを望む。大会については、会場費・運営費の支出が増加しているが、大会参加費、予稿集の収入も伸びている。ポスターセッションの拡充、分科会方式の導入など大会のあり方が大きく改革されたが、財政面からもその影響に今後注意してゆく必要がある。収益事業については、気象研究ノートの収入が半減しており、刊行の活発化が望まれる。

今年度は、通常会員の増加は8名とほとんど横ばいである。その中でB会員は減少するという傾向が続いている。夏季大学等の一般向けの普及啓蒙活動の他に、大学院生等の若手研究者層に対し積極的な勧誘を行って行く必要が生じてきている。29期の評議員は、幅広い分野から人選をしたが、これにより学会に対するさまざまな意見を聞くことができ有意義であった。

「天気」は、「新刊図書案内」や「気象集誌の和文目次」の掲載など、会員に役立つ情報の提供に努めている。「気象研究ノート」は、今年度は1号しか発行されなかった。特定のテーマについて刊行するという趣旨から、毎年同じように刊行するのは難しいかも知れないが、もう少し増やすほうが望ましい。

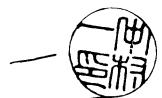
気象学会は早くから学会BBSを開設していたが、インターネットの普及に対応して、昨年末にBBSを廃止し、ホームページの充実にも努めている。今のところ学会活動と機関誌の目次の紹介にとどまっているが、今後電子出版、電子図書館サービスなど、種々の情報サービスが急速に進展すると予想される中、更に内容の充実について検討してゆく必要がある。また、運営については、一部の篤志的な会員に大きく依存しているのが現状であり、改善が望まれる。

この1年間、さまざまな課題に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局員の努力に敬意を表する。

1998年4月28日

監事

中村 一



監事

篠原 吉太郎



1998年度日本気象学会総会議案

日本気象学会第29期理事会
1998年5月28日

◎日本気象学会第30期役員選任について

1. 役員候補者選挙において当選した役員候補者

<理事> (21名)

○全国区 (9名)

- 廣田 勇 京都大学大学院理学研究科教授
新野 宏 東京大学海洋研究所助教授
住 明正 東京大学気候システム研究センター
センター長・教授
木田 秀次 京都大学大学院理学研究科教授
村松 照男 気象庁予報部予報課主任予報官
田中 博 筑波大学地球科学系講師
関口 理郎 成蹊大学講師
山岸米二郎 (財)高度情報科学技術研究機構 (RIST)
二宮 洸三 東京大学気候システム研究センター
客員教授

○北海道地区 (2名)

- 藤吉 康志 北海道大学低温科学研究所教授
古川 武彦 札幌管区気象台長

○東北地区 (2名)

- 佐伯 理郎 仙台管区気象台技術部長
田中 正之 東北大学理学部大気海洋変動観測研究
センター長・教授

○関東地区 (2名)

- 藤部 文昭 気象研究所予報研究部主任研究官
神沢 博 国立環境研究所地球環境研究センター
研究管理官

○中部地区 (1名)

- 田中 浩 名古屋大学大気水圏科学研究所教授

○関西地区 (2名)

- 山下 晃 大阪教育大学教授
高橋 昭 大阪管区気象台長

○九州地区 (2名)

- 宮原 三郎 九州大学理学部地球惑星科学科教授
由良 武 福岡管区気象台長

○沖縄地区 (1名)

- 石島 英 琉球大学教授

<監事> (2名)

○全国区 (2名)

- 中村 一 気象研究所予報研究部第二研究室長
徳野 正己 気象衛星センターシステム管理課調査
官

2. 理事候補者選挙当選者からの推薦による役員候補者

<理事> (6名)

○全国区 (5名)

- 山内 恭 国立極地研究所教授(1949. 9. 28生)
推薦理由：山内会員は、大気物理学、特に放射過
程の専門家であり、大気組成・エアロゾルなど
の放射特性を理論的・観測的の面から研究し、
気候科学の発展に貢献してきた。一方、南極観
測にも経験が豊富で、他分野と気象学との境界
領域を指導してきた。学会は、山内会員のこれ
らの能力を学会の発展に生かして頂けるよう、
期待するところが大きく、理事候補として推薦
する。

- 小川 利紘 宇宙開発事業団地球観測データ解析研
究センター研究ディレクター (1940.
5. 2生)

推薦理由：小川会員は、大気組成、特にオゾンに
関する専門家であり、理論的・観測的の面から
研究し、大気化学の発展に貢献してきた。気象
学や気候科学に占める大気組成研究の重要性か
ら、小川会員の研究活動と指導力に期待するこ
ろが大きく、理事候補として推薦する。

- 中村 誠臣 気象庁予報部数値予報課予報官(1954.
11. 25生)

推薦理由：中村会員は、気象庁予報部において、
数値予報の領域モデルを担当している数値予報
の専門家である。天気予報の精度向上のために、
気象学の進歩を基礎に数値モデルの改良に務め
ている。気象学の社会的貢献において重要な数
値予報の経験を学会活動にも生かして頂くた
め、理事候補として推薦する。

竹村 行雄 気象庁予報部予報課太平洋台風センター・所長 (1948. 5. 29生)

推薦理由：竹村会員は、予報関連業務に長年従事し、降水短時間予報のルーチン化に際してはその技術開発に多大の貢献をした。また、竹村会員は、台風や気象衛星業務にも従事し、国際会議などの経験も豊富である。これらの経験を生かし、学会の業務や企画などで能力を発揮して頂けるよう、理事候補として推薦する。

城尾 泰彦 気象庁観測部環境気象課大気解析官 (1956. 1. 11生)

推薦理由：城尾会員は、現在気象庁観測部環境気象課に所属しているが、これまで経験した業務から得られた、温室効果ガスをはじめとする各種の気象観測についての幅広い知識を有している。また、予算資料などの作成経験も豊富で、これらの能力を学会活動にも生かして頂くため、理事候補として推薦する。

以上、全国区、5名。

○中部地区 (1名)

周東 健三 名古屋地方気象台長 (1941. 10. 25生)

推薦理由：選挙により中部地区にて当選した宇治豪会員が緊急の不都合のため理事候補者になることを辞退されたことに伴い、その補充として、細則に従い中部地区会員の中から、学会活動の活発化に尽力して頂けるにふさわしい会員として、周東健三会員を推薦する。周東会員は海洋

分野を専門としているが、気候と海洋の密接な関係が話題になっている現在、学会におけるこの分野での研究の発展が期待される。

◎ 名誉会員の推薦について

日本気象学会定款第6条5項では、本学会の名誉会員について「この法人（日本気象学会）に対し特に功労のあった者で総会の議決をもって推薦する個人」と規定しています。理事会で協議した結果、以下の方がた（敬称略、五十音順）を新たに名誉会員に加えていただくように総会に提案することを決定いたしました。総会でご審議のうえ、推薦していただくようお願いいたします。

なお、現在の日本気象学会名誉会員は、磯野 謙治、岸保勘三郎、藤田 哲也、村上多喜雄、山元龍三郎、吉武 素二の6名となっています。

候補者名 推薦理由

荒川 昭夫 ・数値モデルによる大気大循環の研究に於ける顕著な功績

小倉 義光 ・気象力学の研究及び優れた多くの著作による気象学の教育・普及に於ける顕著な功績

笠原 彰 ・数値予報及び大気大循環の研究に於ける顕著な功績

都田 菊郎 ・数値モデルによる延長予報及び大気大循環の研究に於ける顕著な功績

◎「奨励金」を「奨励賞」に改めるための
細則改正
趣旨

日本気象学会奨励金は、研究費、研究環境に恵まれない人の調査研究活動を支援するため 1970 年に設けられた。その後、教育における実践も対象に加わり、現在に至っている。

しかし最近の奨励金は、研究・教育活動の費用を援助するというよりも、受領者がそれまでに達成した成果を表彰するという性格が強まっている。この状況に合わせ、奨励金を表彰に重点を移した「奨励賞」に改めるよう、下記のとおり細則の改正を提案する。

<細則>

現行

第 6 章 表彰および奨励

第 24 条 本会は学術研究および学術成果に対し次の表彰および奨励を行う。

5. 奨励金 研究を本務としない職場において、気象学・気象技術に関する、優秀な調査・研究を行っているもの、あるいは初等・中等教育において優れた気象教育を行っているものに対する奨励。

第 25 条 前条に掲げる表彰および奨励の対象者を選定するための受賞候補者推薦委員会を設ける。受賞候補者推薦委員会は、担当理事を長とする。

第 26 条 第 24 条および第 25 条に掲げる表彰および奨励の内容は理事会が別途定める規定による。

改正案

第 6 章 表彰

第 24 条 本会は学術研究および学術成果に対し次の表彰を行う。

5. 奨励賞 研究を本務としない環境において、気象学・気象技術に関する、優秀な調査・研究を行っているもの、あるいは初等・中等教育において優れた気象教育を行っているもの等に対する顕彰。

第 25 条 前条に掲げる表彰の対象者を選定するため受賞候補者推薦委員会を設ける。受賞候補者推薦委員会は、担当理事を長とする。

第 26 条 第 24 条および第 25 条に掲げる表彰の内容は理事会が別途定める規定による。

なお、上記の細則改正が承認されれば、現行の「奨励金受領者選定規定」(「天気」2月号 158 ページ参照)は、「奨励賞受賞者選定規定」として下記のように改められる予定である。

奨励賞受賞者選定規定

1. 日本気象学会奨励賞を受ける者を選定するため、奨励賞受賞候補者推薦委員会(以下委員会と称する)を設ける。
2. 委員会は、担当理事を長とする約 5 名の推薦委員をもって組織し、各委員は理事長が原則として会員の中よりこれを委嘱する。委員は日本気象学会の他の賞の候補者推薦委員と重複しても差し支えない。
3. 委員会は、研究を本務としない環境において、気象学・気象技術に関する、優秀な調査・研究を行っているもの、あるいは初等・中等教育において優れた気象教育を行っているもの等、原則として 3 件を選び、選定理由をつけて 6 月末までに理事長に報告する。

4. 理事長は常任理事会に報告した後、全理事に対し無記名によってその可否を投票させる。全投票者は理事総数の 4 分の 3 以上でなければならない。有効投票のうち 3 分の 2 以上可とするが得点があるものを受賞者と決定する。
5. 奨励賞は賞状・メダル・副賞(賞金)とし、原則として秋季大会においてこれを贈呈する。賞金は 1 件 10 万円とする。

1998年度事業計画(案)

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 45巻4号-46巻3号
- (2) 気象集誌 76巻2号-77巻1号
- (3) 気象研究ノート 190号-193号
- (4) 大会予稿集
春季大会 73号 秋季大会 74号

2. 会議等の開催

- 通常総会 1998年度総会 (5月28日)
 理事会 3回 (5月、10月、3月)
 常任理事会 8回
 評議員会 1回

3. 各委員会等の活動

- 天気編集委員会
 気象集誌編集委員会
 気象研究ノート編集委員会
 総合計画委員会
 講演企画委員会
 教育と普及委員会
 学会賞候補者推薦委員会等
 国際学術交流委員会
 電子情報委員会
 用語検討委員会

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 1998年5月27(水)~29日(金)
 東京都：気象庁/KKR ホテル TOKYO
 (担当：気象庁予報部)
 シンポジウム 5月28日(木)
 題名： 予測可能性
 -カオスへの挑戦-
- (2) 秋季大会 1998年10月20(火)~22(木)日
 仙台市：宮城県民会館・仙台市民会館
 (担当：東北支部)
 シンポジウム 10月21日(水)
 題名： 大気と海洋
 -地球温暖化をめぐる-
- (3) 研究会、月例会等
 - ・IGBP/GAIRM研究会
 - ・極域・寒冷域研究連絡会
 - ・メソ気象研究会
 - ・オゾン研究連絡会
 - ・大気海洋陸面相互作用研究会
 - ・山の気象シンポジウム
 - ・長期予報と大気大循環
 - ・レーダー気象

5. 研究業績の表彰及び研究の奨励

- ・日本気象学会賞
- ・藤原賞
- ・山本・正野論文賞
- ・堀内賞
- ・奨励金

6. 支部活動

- (1) 各支部研究発表会
- (2) 気象講演会
 - 1) 北海道支部
 期 日：1998年10月10日
 題 目：苫小牧周辺の気象と自然環境
 - 2) 中部支部
 期 日：1998年8月29日
 題 目：20世紀と21世紀の地球環境
 の変遷
 - 3) 沖縄支部
 期 日：1998年10月27日
 題 目：気候風土から見た八重山の魅力

7. 普及活動

- (1) 第32回夏季大学
 期 日：1998年8月5(水)~7日(金)
 題 目：新しい気象学—気象を測る—
- (2) 北海道支部第16回夏季大学
 期 日：1998年7月29(水)、30日(木)
 題 目：新しい気象学
- (3) 中部支部 第5回気象講座
 期 日：1998年8月27日(木)
 題 目：気象災害を防ぐ
- (4) 関西支部第20回夏季大学
 期 日：1998年7月28、29日
 題 目：日本に影響を及ぼす熱帯の気象
 -台風・エルニニョ現象・モンスーン-

8. 対外活動

- (1) 第32回宇宙空間科学 COSPAR 会議
 の共催
- (2) 地球環境科学関連学会協議会開催
- (3) 地球惑星科学関連学会合同大会
 セッション共催
- (4) 国際ワシントンシンポジウムの準備
- (5) IUGG 開催検討

9. 国際学術交流活動

気象学における国際的な発展及び交流を
 図るための、国際交流事業への支援を行う

10. 電子情報関連

- (1) 学術情報センター電子図書館サービスへの加入
一年契約で加入、会員の利用状況等の影響を考慮して 契約更新を判断するサービスに参加希望する会員の対応を行う
- (2) 学会ホームページ管理運営
気象集誌要旨の掲載、気象の広場の拡充、英語版の整備
- (3) 学会事務局におけるネットワーク設備の充実
システム管理、電子メールの対応、情報交換のネットワーク化

11. 学会会員名簿作成

- (1) 平成 10 年 4 月 名簿の作成形態の調査
- (2) 同 5～7 月 名簿の整理
- (3) 同 9～10 月 名簿刊行・配布

12. 事務局の構成

事務局長	島津 成之
	松野 光雄
	館 英男

(社団法人) 日本気象学会

会計報告書表

収支予算書(案)

1,998年度

1998年4月1日より

1999年3月31日まで

(円)

1. 収入の部(1)

助定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		増減 (B) - (A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 会費収入							
通常会員	41,354,000	42,284,913	41,294,578	41,294,578		△59,422	
特別会員	31,394,000	31,932,757	31,380,578	31,380,578		△13,422	
団体会員	1,006,000	1,193,036	1,045,000	1,045,000		39,000	
賛助会員	6,024,000	6,369,120	6,039,000	6,039,000		15,000	
	2,930,000	2,790,000	2,830,000	2,830,000		△100,000	
2. 基本財産運用	978,000	892,936	885,000	885,000		△93,000	
一般基金	381,000	315,501	340,000	340,000		△41,000	
国際交流基金	597,000	577,435	545,000	545,000		△52,000	
3. 事業収入	35,942,000	32,109,720	34,327,000	13,640,000	20,687,000	△1,615,000	
天気	5,520,000	6,637,200	5,560,000	0	5,560,000	40,000	広告料、別刷代
気象集誌	6,390,000	6,340,055	6,390,000	4,620,000	1,770,000	0	投稿料、別刷代
気象研究ノート	11,458,000	4,820,082	9,587,000		9,587,000	△1,871,000	4冊(190-193)
予稿集	5,574,000	6,968,888	5,930,000	5,240,000	690,000	356,000	
大会開催	2,420,000	3,137,000	2,640,000	2,640,000		220,000	大会参加費
教育と普及	1,025,000	866,910	935,000	935,000		△90,000	夏季大学受講料とテキスト
書店扱	3,350,000	2,928,730	3,080,000		3,080,000	△270,000	
業務受託	0	212,030	0	0		0	
その他事業収入	205,000	198,825	205,000	205,000	0	0	他の刊行物等
4. 補助金収入	5,060,000	5,210,000	5,210,000	5,210,000		150,000	
科学研究費	5,060,000	5,210,000	5,210,000	5,210,000		150,000	
その他	0	0	0	0		0	
5. 寄付金収入	0	268,804	0	0		0	
寄付金	0	268,804	0	0		0	
募金	0	0	0	0		0	
6. 基本財産取崩収入	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0		0	

収支予算書(案)

(社団法人) 日本気象学会

1. 収入の部 (2) (円)

勘定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
7. 引当金取崩収入 退職金引当金	0 0	0 0	0 0	0 0		0 0	
8. 雑収入	343,000	575,039	256,000	206,000	50,000	△87,000	
受取利息	193,000	116,093	106,000	106,000		△87,000	引当金, 運用財産
著作権複写許可料	100,000	310,461	100,000	100,000		0	
印税	50,000	38,265	50,000		50,000	0	
その他	0	110,220	0	0		0	
当期収入合計	83,677,000	81,341,412	81,972,578	61,235,578	20,737,000	△1,704,422	
前期繰越収支差額	9,188,867	9,188,867	13,397,556	11,528,486	1,869,070	4,208,689	
収入合計	92,865,867	90,530,279	95,370,134	72,764,064	22,606,070	2,504,267	

2. 支出の部 (1) (円)

勘定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
1. 事業費	57,062,000	49,574,163	57,395,000	46,106,000	11,289,000	333,000	
天気	26,577,000	25,765,144	26,522,000	22,768,000	3,754,000	△55,000	
印刷製本費	20,503,000	19,633,771	20,256,000	16,576,000	3,680,000	△247,000	
編集委員会費	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000		0	
通信運搬費	4,874,000	4,931,373	5,066,000	4,992,000	74,000	192,000	
気象集誌	11,061,000	11,402,627	10,942,000	9,712,000	1,230,000	△119,000	
印刷製本費	7,592,000	7,854,071	7,473,000	6,373,000	1,100,000	△119,000	
編集委員会費	1,289,000	1,289,000	1,289,000	1,289,000		0	
校正料	600,000	510,309	600,000	600,000		0	
通信運搬費	1,580,000	1,749,247	1,580,000	1,450,000	130,000	0	

収支予算書(案)

1,998年度 1998年4月1日より

2. 支出の部(2) (円)

1999年3月31日まで

勘定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
気象研究ノート	8,347,000	2,762,347	6,249,000	6,249,000	6,249,000	△2,098,000	190号から193号を発行予定
印刷製本費	5,502,000	1,735,717	3,952,000	3,952,000	3,952,000	△1,550,000	
編集委員会費	620,000	421,020	613,000	613,000	613,000	△7,000	
原稿料	1,100,000	320,880	840,000	840,000	840,000	△260,000	
通信運搬費	1,125,000	284,730	844,000	844,000	844,000	△281,000	
予稿集	2,125,000	2,486,523	2,412,000	2,356,000	56,000	287,000	
印刷製本費	1,385,000	1,717,724	1,672,000	1,616,000	56,000	287,000	
通信運搬費	740,000	768,799	740,000	740,000	0	0	
大会開催	4,502,000	3,535,962	5,650,000	5,650,000	5,650,000	1,148,000	本部からの補助金
春秋大会	4,000,000	3,380,000	5,100,000	5,100,000	5,100,000	1,100,000	
その他会合	352,000	5,362	400,000	400,000	400,000	48,000	オゾンシンポジウム、地球環境科学他
講演企画委	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0	若手会補助を含む
教育と普及	1,305,000	1,190,356	1,305,000	1,305,000	1,305,000	0	
委員会	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	0	
夏季大学開催	369,000	327,956	369,000	369,000	369,000	0	会場費、設営費、印刷費
支部夏季大学補助	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	0	支部開催の夏季大学を補助
夏季大学テキスト	536,000	462,400	536,000	536,000	536,000	0	(北海道、関西、中部)
表彰・奨励	1,575,000	1,440,164	2,745,000	2,745,000	2,745,000	1,170,000	
賞金	910,000	740,000	910,000	910,000	910,000	0	
委員会	165,000	230,997	165,000	165,000	165,000	0	
雑費	500,000	469,167	1,670,000	1,670,000	1,670,000	1,170,000	受賞者旅費、メダル作成
国際学術交流	1,320,000	881,710	1,320,000	1,320,000	1,320,000	0	
参加旅費補助	1,100,000	670,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	0	
交流事業	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	0	
委員会費	20,000	11,710	20,000	20,000	20,000	0	
研究連絡会	250,000	109,930	250,000	250,000	250,000	0	
受託業務費	0	0	0	0	0	0	極域、オゾン、メソ、陸面大気海洋
その他事業費	0	0	0	0	0	0	GAIM

1998年度 1998年4月1日より
1999年度 1999年3月31日まで

収支予算書(案)

(円)

2. 支出の部(3)

勘定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		訳	増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門			
2. 管理費	26,578,000	26,012,736	28,289,000	21,274,250	7,014,750	1,711,000	1,711,000	収益収入比率
人件費	14,606,000	14,470,248	14,337,000	10,752,750	3,584,250	△269,000	△269,000	25.00%
職員給料	12,333,000	12,407,663	12,531,000	9,398,250	3,132,750	198,000	198,000	
福利厚生費	995,000	614,465	449,000	336,750	112,250	△546,000	△546,000	
臨時雇用賃金	1,278,000	1,448,120	1,357,000	1,017,750	339,250	79,000	79,000	
退職金	0	0	0	0	0	0	0	
事務局関連経費	6,913,000	6,060,022	9,277,000	7,007,750	2,269,250	2,364,000	2,364,000	施設保守維持分担金を含む
賃借料	1,572,000	1,584,148	1,572,000	1,179,000	393,000	0	0	
光熱水料	150,000	130,250	150,000	112,500	37,500	0	0	
消耗品	850,000	781,023	850,000	637,500	212,500	0	0	
什器備品	500,000	294,735	200,000	200,000	0	0	0	事務器, 計算機, その他
借料(レンタル料)	222,000	76,560	222,000	166,500	55,500	0	0	
通信運搬費	1,193,000	1,022,915	1,833,000	1,374,750	458,250	640,000	640,000	郵便, 電話, 宅急便
印刷製本費	870,000	1,106,190	1,100,000	825,000	275,000	230,000	230,000	封筒, 雑誌製本, 総会資料
旅費交通費	10,000	6,320	10,000	7,500	2,500	0	0	
会議費	10,000	8,820	10,000	7,500	2,500	0	0	
慶弔費・交際費	30,000	0	30,000	22,500	7,500	0	0	
手数料	325,000	316,778	325,000	243,750	81,250	0	0	振込手数料など
事務委託費	306,000	337,080	1,780,000	1,335,000	445,000	1,474,000	1,474,000	会費請求書作成, 会員名簿入出力等
諸会費・謝金	325,000	329,500	325,000	243,750	81,250	0	0	会計士, 学術協力財団賛助会費等
その他	550,000	65,703	870,000	652,500	217,500	320,000	320,000	会員名簿印刷, その他

収支予算書(案)

1,998年度 1998年4月1日より

1999年3月31日まで

(円)

勘定科目	97年度 予算(A)	97年度 決算	98年度 予算(B)	内		増減 (B)-(A)	備考
				公益部門	収益部門		
パソコン通信	183,000	199,474	152,000	114,000	38,000	△31,000	
電算機開発管理	250,000	191,100	550,000	412,500	137,500	300,000	会員データベース他
総会・役員会	1,428,000	1,778,259	1,443,000	1,082,250	360,750	15,000	
選挙費用	668,000	550,247	0	0	0	△668,000	
支部交付金	2,500,000	2,444,650	2,500,000	1,875,000	625,000	0	
租税公課	30,000	14,340	30,000	30,000	0	0	
その他	0	304,396	0	0	0	0	返却金等
3. 基本財産繰入	0	0	0	0		0	
一般基金	0	0	0	0		0	
国際交流基金	0	0	0	0		0	
4. 引当金繰入	623,000	615,824	622,000	622,000		△1,000	
退職引当金	623,000	615,824	622,000	622,000		△1,000	
5. 予備費	1,000,000	0	1,000,000	750,000	250,000	0	
当期支出合計	85,263,000	76,202,723	87,306,000	68,752,250	18,553,750	2,043,000	
当期(純)収支差額	△1,586,000	5,138,689	△5,333,422	△7,516,672	2,183,250	△3,747,422	
税引前次期繰越収支差額	7,602,867	14,327,556	8,064,134	4,011,814	4,052,320	461,267	